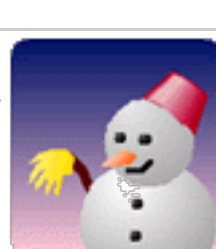


第39回定期演奏会

2006年12月22日、静岡市民文化会館大ホールにて第39回定期演奏会を行いました。金曜日の開催ながら、多くのお客様にお集まりいただき、とても嬉しかったです。
さて、ウェブでは、台湾演奏旅行やウインドマシンの製作報告などに力を注いだ結果（笑）、少々定期演奏会のOMOIDEコーナーでの報告が遅れました。実はこの演奏会もお伝えしたいネタが多く、今回も写真でその当日の様様をお届けします！
静岡大学吹奏楽団では定期演奏会が4年生の最後の舞台でありまして（まあ卒団後もやっぱりウェブに登場している人もいますがw）こちらのページでは本当に最後のOMOIDEです。貴重ですw
それでは、まずは今年のプログラムを振り返ります！今年にはなにが難曲が多いですか？そんなことはないはず！



第一部	
歌劇「ルスタンとリュドミラ」序曲	M・グリンカ
スペイン交響曲	R・コルサコフ
歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」開奏曲	P・マスカニニ
バレエ音楽「火の鳥」1919年版より	I・ストラヴィンスキー
第二部	
ウィズ・ハート・アンド・ボイス	D. R. キリングハム
船橋の夜	堀島 弘和
丘の上のレイラ	星出 昌彦
宇宙の音楽	P・スパーク

稲穂の波は90年代吹奏楽コンクール課題曲も一度聴きたいウェブ選曲投票によって総投票約250票から選ばれました。お客様の中にはこの曲を演奏したOMOIDEがあるという人もいたのではないのでしょうか。
今年の定期演奏会のメインに置いたのがフィリップ・スパークの宇宙の音楽です。繊細で壮大なこの曲を団員全員で演奏しました。まさに壮大？いえいえ、まさに宇宙でした！！



会場のあるディスプレイです。
左から賞状、賞状、賞状、写真プレート、盾、団長、県大会朝日賞、全国大会トロフィー、金文字の静岡大学吹奏楽団です。それでは、OMOIDEコーナースタートです。



本番当日の朝、とっても元気な団員たち。前日のリハーサルは夜遅くまで行われましたがそんな疲れはみじんも感じられず。本番までこのテンションで突っ走ります。



楽屋では衣装や楽器のチェックを怠りません。クリスマスが近いので今年もサンタ帽をみんなで被りました。ステージではサンタ以外も登場したそうです。そしてこれは楽器のチェックなんですか？お手入れ？



左の偉大な先輩もこれが最後の演奏会です。彼は本当に大事な言葉を残してくれました。右は台湾で大人気の人。これが初の定期演奏会で緊張しています。最後のリハーサルを取材中とのこと。



4年生の皆さんで記念撮影です。貴重ですよ。

演奏してる姿も撮影しました。



パーカッション（ウィズ・ハート・アンド・ボイス）

金管セクション（宇宙の音楽）

そして、迫力の本番の写真です。宇宙の音楽はどうだったでしょうか？



アンコール



さて、次の定期演奏会は記念すべき40回目の定期演奏会となります。
日時は12月の21日。会場は同じく静岡市民文化会館大ホールです。
詳細はinformationにてお知らせします。ご期待ください！

第39回定期演奏会の演奏を収録したCDも好評販売中です。
CD通信販売